排出タンクの化学的保護 — スペイン 火力発電施設

概要

アズ・ポンテス発電所は、総容量 1,468.5MW の 4 基の石炭火力発電所で、1976 年から 1979 年の間に完成しました。このプロジェクトは、EU の産業排出量指令（IED）の要件を満たすために発電所を適合させるための投資の一環でした。この指令は、大気中に放出される燃焼ガス（NOX と SOX）から硫黄を脱窒して除去することを要求しています。その目的は、3 つのタンクと 800m2 の総面積をカバーする貯水槽のための化学的保護を提供することでした。

3 つのタンクは、自動車で使用しているのと同様のウレアを使用した NOx 中和プロセスから派生する副産物であるアンモニアと漂白剤を排水・分離するタンクです。ここで副生成物は凝集を経て沈殿槽に排出され、分離・処理されます。

保護層の高い耐薬品性が求められることに加え、湿度の高い曇りの日や霧、降雨が多いスペイン北部の気象条件では、適用時に下地の水分を許容できるシステムが必要でした。

ソリューション

プロジェクトのすべての要件を満たしつつも、施工上の制約も考慮した結果、施工時に下地中の残留水分を許容できるシステムを選択し、EN 1504-2 に準拠するマスターシール 7000 CR を選択しました。

システム概要

マスターシール 7000CR

お客様へのメリット

マスターシール 7000 CR システムはゾルテックテクノロジーに基づいて以下の特長を持ちます。

- 高い耐薬品性
- 優れたひび割れ追従性能
- 高い機械的抵抗
- 下地の湿潤適応性、環境中の空気湿度に強い
- 手塗り、スプレー塗布が可能
- 施工が容易で工事時間を短縮

場所： スペイン
工事面積： 約 800m^2